

学区ふれあい盆おどり大会



【御器所学区】

■世帯数：5,397 世帯

■人 口：10,709 人

■面 積：0.948km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 毎年住民間の交流の場として盆おどり大会を御器所小学校校庭を会場に開催。参加者数は約 500 人。
- ・ 踊りになじんでもらうために事前に練習日を設ける。
- ・ 盆おどりの前に子どもたちにゲーム遊びで楽しんでもらう。
- ・ 平成 22 年より模擬店も始め、参加者の増加につながっている。
- ・ 併せて、消防団による消火訓練を行っている。また、昭和区女性交通安全クラブ員による東門・南門での交通安全活動を行う。

【住民への PR 方法】

チラシの各戸配布と回覧、掲示板への掲示、コミュニティセンター、トワイライトスクールの入口に掲示。

【アピールポイント】

CO₂削減は家庭からということで、盆おどりの曲目に「みんなで減らそう CO₂」を取り入れ、事前にトワイライトスクールで子どもたちに練習してもらい本番で声高に『CO₂！』と言ってもらった。また消防団による消火訓練体験で防火意識が高まった。

2 きっかけ、背景

昭和 54 年を最後に途絶えていた盆おどり大会について「ぜひやってほしい」「なぜこの学区にはないのか」との要望があり、「安心、安全で快適なまちづくり」が地域課題となり、行政からの応援もあり平成 17 年に復活させた。以降毎年開催している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会 計約 9 人

(2) 他団体との協力

学区連絡協議会

(3) 運営協力

女性会の民踊部に各種団体や子どもたちを対象とした事前練習会での踊り指導を担当してもらっている。

4 実施のスケジュール

6 月 15 日 学区連絡協議会で時間・場所・内容などを決定、実行委員を各種団体から 1 人出してもらう。

7 月 10 日 第 1 回実行委員会 準備、催事内容、役割分担等を決定

7 月 25 日 第 2 回実行委員会 ゲーム賞品の買出し、やぐら組立などの最終打合せ。

8 月 4 日 盆おどり大会開催

8 月下旬 反省会

5 成果と課題

(1) 成果・効果

参加者の増加、住民意識の高まり、住民間の交流の深まり。夏の風物詩として、地域に定着した感がある。子どもたちの浴衣姿が年々増えている。

(2) 苦労した点

夜の解放感があるせいか走り回る子どもがいるので、場内警備に人員を当てている。最後に子どもたちに菓子袋を配るが、その方法に苦慮した。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続、担い手の世代交代。やぐらの組立・解体は重労働なので、いかに若い力を確保するかが今後の課題である。

(4) メッセージ・アドバイス

大人はなかなか輪の中に入って踊ってもらえないので、極力声かけをする。車いすの人でも輪に入ってもらい、一緒に踊ってもらえるとよい。